



勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集

美心会だより

第14回 合同練習 毎日新聞が取材

太極拳練功会主催の第14回合同練習が、ゴールデンウィーク初日の4月29日（土）に開催された。

通常の練習は、午前9時30分からだが、合同練習は午後1時から、興津小学校を会場として始まった。

参加者は、勝浦市太極拳サークル美心会21名、勝浦清心会33名、成増太極拳クラブ5名、タオ研究会1名と山岸先生夫妻を含め総勢62名となった。

合同練習開催予定時刻直前に、毎日新聞館山通信部中島記者が取材に訪れて本会の野口会長が対応した。



説明する野口会長と協力者・大野興風氏（中央）

今回の新聞取材は、本会の門屋さんが中心になり「白沙の会」の大野興風氏の協力で実現した。熱心な取材は、山岸先生や他の会員にも及んだが予定通り午後1時から齋藤副会長の進行で合同練習が始まった。



山岸先生を取材する中島記者

練習を写真取材する中島記者



準備運動後、プログラムに従い参加者全員による簡化太極拳24式ついで楊式太極拳88式の演武が行われた。初級者は突然の楊式太極拳88式参加に戸惑いながらも周囲に合わせていた。



参加者全員で簡化太極拳24式の演武

模範演武の張三豊原式太極拳に続き、例年通り太極拳技法を山岸先生が紹介。今年は推手が紹介された。



お互いに向き合い相手の胸に向かって押す

変わった表演は、勝浦清心会の「簡化太極拳24式」と「楊式太極拳88式」のコラボで難易度が高い。



勝浦清心会の24式と88式のコラボ

